

JICA（国際協力機構）の公的資金活用 ～中小企業海外展開支援プログラムのご紹介～

株式会社大和総研
コンサルティング本部

1. 企業紹介

お客様に選ばれるベストパートナーへ

会社名： 株式会社大和総研

住所： 東京都江東区冬木15番6号

代表者：代表取締役社長 中川 雅久

従業員数： 1,855人

事業内容：システムコンサルティング、システムインテグレーション、データセンターサービス、アウトソーシングサービス、AI・データサイエンス、経済・社会に関する調査研究・提言、およびコンサルティング

弊社親会社名：株式会社大和証券グループ本社

住所：東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウ ノースタワー

代表者：執行役社長 中田 誠司

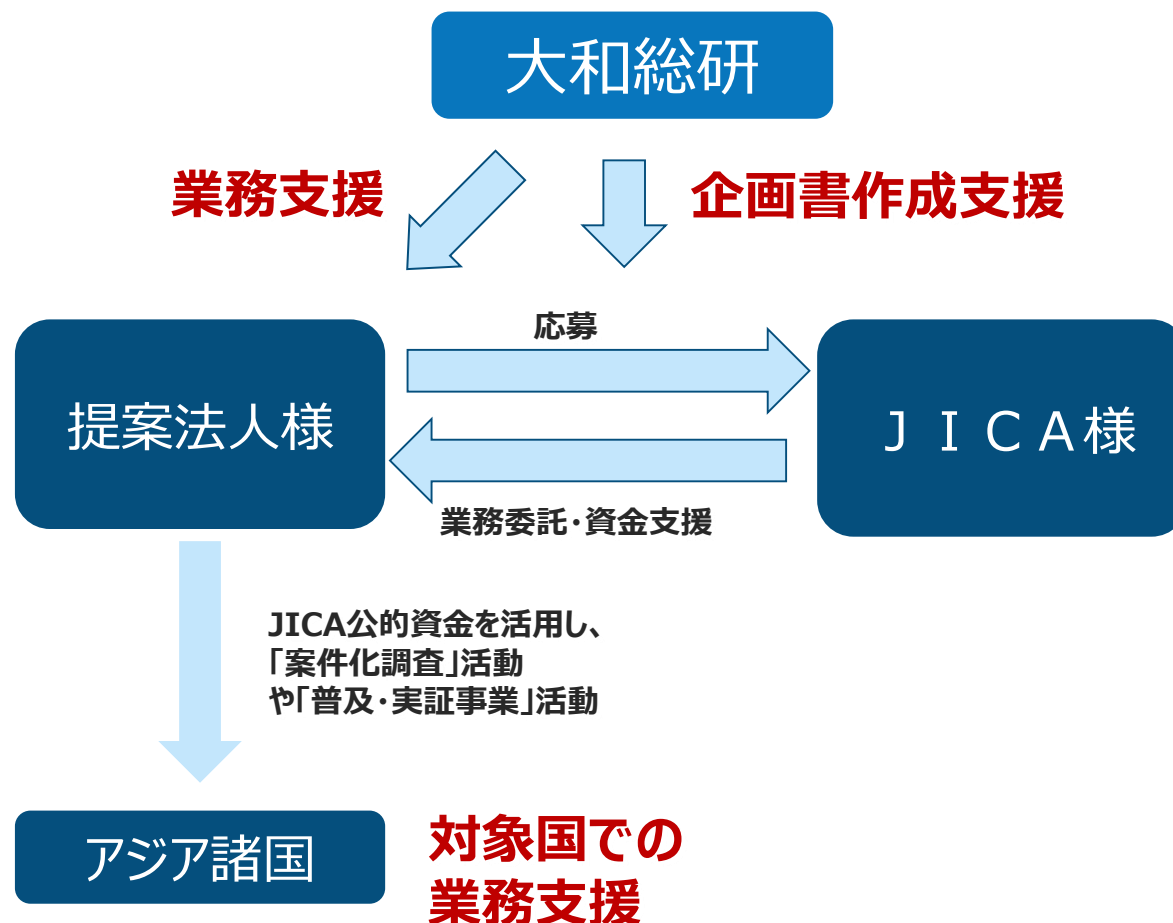
営業収益（連結）： 576,172百万円

従業員数（連結）： 15,096人



2. JICA「中小企業海外展開支援事業」での大和総研の役割

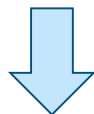
- JICAの「中小企業海外展開支援事業」ではプログラムにおいては、コンサルタントの活用が推奨されております
- 弊社、大和総研では、応募企業様の「企画書作成支援」、「（採択後の）業務支援」を行っております



3. 大和総研の強み

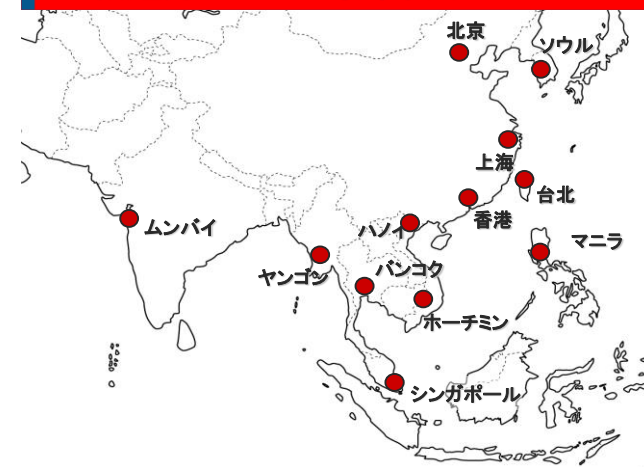
貴社のビジネス展開計画とその実行支援に強みを有しています

- ✓ 上場企業等に対する、経営戦略、中期経営計画、コーポレートガバナンス、I R、リスクマネジメント、人事・人材、グローバル経営等の幅広い分野の経営コンサルティングに対する実績
- ✓ 証券系シンクタンクとして金融・証券市場に対する幅広い知見
- ✓ 東南アジア地域に注力しており、『大和の事業投資ガイド』の作成等、各国のファンダメンタルズ調査をベースとする点
- ✓ 計20件のコンサル実績（基礎調査1件、案件化調査（中小企業支援型）10件、普及・実証・ビジネス化事業（中小企業支援型）9件）があります（次頁ご参照）
- ✓ 大和証券グループでの海外ネットワークを活用（右図ご参照）



貴社の海外進出に関する内・外部環境分析、具体的なビジネス展開計画とその実行支援を通じた貴社のビジネス拡大支援に強みを有しています

大和証券グループ海外ネットワーク



4. 2013年度～21年度の大和総研支援企業様 採択実績①

★/＊ 同一企業

	年度	案件区分	委託予算上限	対象国	概 要
1	2021年度	普及・実証事業	1億円	マレーシア	土壌環境に配慮した高付加価値花卉とイチゴの選抜・栽培技術
2	2020年度	普及・実証事業	1億円	ベトナム	太陽光発電・蓄電機材及びクラウド型IoT監視システム
3		案件化調査	3,000万円	ブータン	低コスト型有機原木しいたけ栽培の6次産業化
4	2019年度	案件化調査	3,000万円	ミャンマー	牛乳・乳製品の品質向上による酪農セクター振興
5		案件化調査	3,000万円	ベトナム	低コスト型短橋梁建設
6	2018年度	案件化調査	3,000万円	モンゴル	未活用森林資源の有効活用事業
7		案件化調査	5,000万円	インドネシア	都市部上水道の送配水管内の洗浄技術を用いた水質/供給力の改善
8		案件化調査	3,000万円	タイ	微生物による染色排水の脱色事業案件化調査【途上国発イノベーション枠】
9	2016年度	★普及・実証事業	1億円	ベトナム	浄化槽導入による分散型生活排水処理水準向上
10		普及・実証事業	1億円	タイ	乳牛用自動洗浄機能付き搾乳システム/冷却機能による生乳品質向上
11		普及・実証事業	1.5億円枠	モンゴル	鉄道カーブ区間用レール締結装置の技術普及・実証
12		案件化調査	3,000万円	ベトナム	米油及び脱脂糠の製造並びに用途開発にかかる案件化調査
13	2014年度	★案件化調査	3,000万円	ベトナム	浄化槽維持・管理技術の導入による生活排水処理に関する調査
14		＊普及・実証事業	1億円	ベトナム	新生児黄疸の診断・治療水準向上のための普及・実証事業
15		普及・実証事業	1億円	フィリピン	腎臓病の食事予防策である低たんぱく米の製造および低たんぱく米普及
16		基礎調査	1,000万円	ベトナム	粳穀を原料に粳穀ボードを製造し、廃棄物有効利用と農村開発
17		案件化調査	3,000万円	フィリピン	廃食油を利用した地産地消型バイオディーゼル生産システム案件化調査

4. 2013年度～21年度の大和総研支援企業様 採択実績②

★/＊ 同一企業

18	2013年度	*案件化調査	3,000万円	ベトナム	新生児黄疸診断機器導入を通じた新生児医療向上案件化調査
19		普及・実証事業	1億円	ミャンマー	ヤンゴン市内の交通信号設備を設置する普及・実証事業
20	201x年度	普及・実証事業	1億円	X 国	(非公開)

5. JICA「中小企業海外展開支援事業」応募における留意点

- 案件化調査及び普及・実証事業の提案が採択されるポイントは、各事業の審査基準からヒントを得ることができます
- 企画書においては、対象国の開発課題に対し提案製品がいかに貢献可能かを明確に示すことが最も重要であり、これに基づいたストーリー性が重視されます

採択に向けた適合性基準

☐	No.	適合性リスト（大和総研独自作成）
☐	1	進出対象国が決まっている
☐	2	対象国に実際に赴き、視察したことがある
☐	3	自社製品である。または共同応募できる中小企業の製品である
☐	4	製品またはサービスは、国内で十分な販売実績を有している
☐	5	製品またはサービスは、途上国の課題解決に合致するストーリーである
☐	6	特許等、差別化可能な製品優位性をアピールできる特徴がある
☐	7	対象国の実情に適合した機能、価格での提供は可能である。その発想を持っている
☐	8	対象国での今後のビジネス展開（販売会社や現地工場等の設立など）を描けている
☐	9	社長もしくは担当役員が陣頭指揮をとる体制になっている
☐	10	ビジネスモデル仮説が設定できている
☐	11	我が国の国別援助方針との適合性がある

お問い合わせ先

株式会社大和総研
経営コンサルティング第二部

【担当】横溝・芦田

東京都江東区冬木15-6

電話：080-1044-1840

e-mail: satoshi.yokomizo@dir.co.jp